

日刊磐城時報 編輯部 印刷部 發行部 電話 廣告部 訂部

模擬火災による 人命救助の演習

けふ火防宣傳デーに 平消防組の催はし

五日防火運動實施の日平消防組は五日から十五日間町役場では仲町に櫓を建て飛行機から從覽されるが、衆議院は四千四百の爆彈投下による模擬火災を行自九十八名で昨年比し六十六の人命救助の演習を行ひ演習後名の増加、町會議員は四千三百自動車によつて全町に宣傳ビラ四十名で昨年比し百五十七名を撒き各戸について火防宣傳をの増加である。

町會議員 選舉人名簿

平町の九月十五日現在調査の衆議院に決定、この程田中警務課長議院、町會議員選舉有資格者名が出張種々打合せを行つた。

松崎君の訪問飛行 高等飛行は明日

松崎二郎君の郷土訪問飛行は火を積んで再び四倉海岸を出發し防宣傳實施の五日、六日の兩日平、湯本、小名濱、植田、勿來決定される。五日午前九時松崎の各町及び古河、磐城、入山の君は愛機小雲雀號を操縦し木下各炭礦上空で低空飛行をなし午橋本兩氏の操縦する誘導機と共に二時双葉相馬を経て福島市、に船橋を離陸、平上空を通過し郡山市に至りビラを撒布し午後午前十一時無事四倉海岸着陸。五時四倉海岸に到着の豫定である。六日は平町に於て各種の高本四倉、小田部平兩署長その他飛行を試み、特に永山キミ子の出迎えをうけ零時半宣傳ビラ嬢が落下傘の演習を行ふ等。

四倉局成績

局十月分の發件數左の如し。貯金受一千九百九十九圓三萬二千六百二十二圓三錢、拂六百四十三萬七千八百八十三圓三錢、六厘、爲替受三百八十一圓六千六百四十九圓一錢、拂四百三十圓一萬一千九百三十二圓五十五錢

四倉驛成績

四倉驛十月分の取扱左の如し。乗車一萬一千七百八十二人三、千二百五十四圓五錢、降車一、

伏見前町長に 慰勞金六千圓

三回に分けて贈る

前平町長伏見彦衛氏に對する慰勞金六千圓を決定する町會議は既報のチーム對内務省チームの一戦は如く四日後一時から開會し六、大洋九對内務省十四で大洋チ千圓を贈る事に決定したが、財の惜敗。来る十三日決勝戦を政の關係上本年度は三千圓を贈同球場に一回戦の勝者水産試験場對内務省の兩巨豪が覇を争ふ昭和八年、九年兩年度に一千五百圓宛三回に贈る事になつた事になつた。

入學兒童の増加で 新町長氣を揉む

或ひは第四校建設か

平町第一、二、三小學校共現在收年は新入學兒童五百余名の多數容兒童數は一學級平均六十二名に上り半數の二百五十名卒業す強で甚だしいのは六十五名詰めるものとして尚ほ四學級分に込込んである状態で新校舎建築案當る二百五十名が教室から溢れ毎年の問題となつてゐるが、明ることになるので、青沼新町長

秋刀魚の尾部に 標識をつけて放流

水試場で移動調査

縣立小名濱水産試驗場では中央の就任に依り新校舎増設問題は従高五六百圓を算してゐたが最近水産試驗場と協力して秋刀魚漁再び探頭するに至つた。町では近の不漁に各船主はバタ／＼と期制限問題一切の解決を與ふべ伏見町長時代南町へ第四小學校倒れ現在では僅二艘だけ辛うじ指導船磐城丸は秋刀魚漁場を設置する條件のもとに第三小出て出漁してゐる状態である。一日の查のため三日午前十時小名濱港學校を設置、四小學校の敷地ま漁獲も二、三十圓内外であるかを出港したが、同船は調査途中で買収成つてゐるながら經費の關ら一日約十圓の損損となる譯で隨所に秋刀魚の漁獲を行ひ既記係上放任されてゐる關係にありある。現在の漁は主として、な如く尾部に細かい銀線に淡赤明年は嫌が應でも新設か増築のた曳漁の平目であるが、最近はその二分五厘程度のセルロイド必要に迫られてゐる處から新町潮流と海底海草繁殖の關係から板の標識を附し零號より九百九長が財政難を押し切つて新築を全く漁獲がなくなり沖曳漁に出十九號まで放流して秋刀魚の動決行するか、第三小學校へ軍にてゐる、尙目下の平目水揚相場ことになつたが同試驗場では該標識を附せる秋刀魚の發見者に對し漁獲日時と漁場位置とを明記標識板を添え速報されたこと依頼してゐる。

津輕屋 青森で捕はる

石城郡平窪、内郷、赤井各村の梨栽培者七、八十人に支拂ふべき梨委託代金約千餘圓を踏倒し青森方面に逃走した平町二丁目果實店津輕屋津島竹松(三〇)は三日夜青森驛で取押へられ四日平署員が身柄引取に赴いた。

早くも石城郡で 小作料引下運動

豫想外の減收のため

濱三郡地方の農村は目下稻作の收納作業最中で比較的順調な天候に恵まれ今月中旬頃までに終了の見込みであるが、本年の作柄は出穂期から結實期にかけて不順な天候に禍され二割方増收の豫想は事實に於て裏切られ五分減となり、而も米價の安値から極度に悲觀した小作人等は小作料引下げの運動を起すべく既に石城郡玉川、勿來、錦の各町村に於て寄々協議中で多少の紛紜は免れぬ模様である。

江名町から

勿論組合員の努力に俟つもの多く中田政吉、中山元治の兩氏は終始これに當り昭和二年二月五日工將に成らんとするに先立つて病歿した。殊に江

九面の漁業

石城郡勿來町九面港の打瀬船は數年前の全盛期には二十數艘あり一日漁獲高五六百圓を算してゐたが最近の不漁に各船主はバタ／＼と期制限問題一切の解決を與ふべ伏見町長時代南町へ第四小學校倒れ現在では僅二艘だけ辛うじ指導船磐城丸は秋刀魚漁場を設置する條件のもとに第三小出て出漁してゐる状態である。一日の查のため三日午前十時小名濱港學校を設置、四小學校の敷地ま漁獲も二、三十圓内外であるかを出港したが、同船は調査途中で買収成つてゐるながら經費の關ら一日約十圓の損損となる譯で隨所に秋刀魚の漁獲を行ひ既記係上放任されてゐる關係にありある。現在の漁は主として、な如く尾部に細かい銀線に淡赤明年は嫌が應でも新設か増築のた曳漁の平目であるが、最近はその二分五厘程度のセルロイド必要に迫られてゐる處から新町潮流と海底海草繁殖の關係から板の標識を附し零號より九百九長が財政難を押し切つて新築を全く漁獲がなくなり沖曳漁に出十九號まで放流して秋刀魚の動決行するか、第三小學校へ軍にてゐる、尙目下の平目水揚相場ことになつたが同試驗場では該標識を附せる秋刀魚の發見者に對し漁獲日時と漁場位置とを明記標識板を添え速報されたこと依頼してゐる。

三河産業博覽會
昭利産業博覽會
金牌受賞

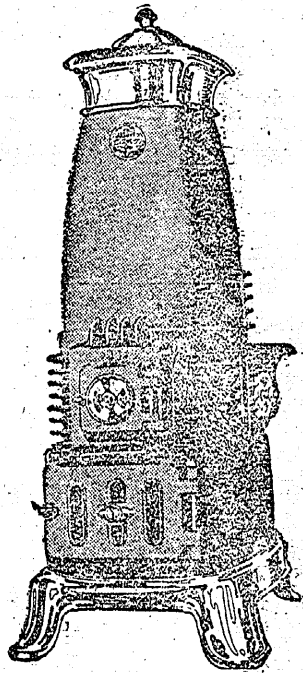
式儀
折詰造
大製

お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

嚴冬の征服者

福祿ストーブ

戸毎に福祿



四海は常春

電話三七番

カタロク御申越下さい
早速持参致します

平停車場前

福祿ストーブ
福島縣一手販賣
阿部石炭店

平看護婦會

看護婦派の需めに
平町字南町【電話三〇七番】

秘家傳腫物湯
のんで効く
はれ物の妙薬

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ
●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前
効一●等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜
痕を遺さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
特約店
平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店
植田町 松本薬店 富岡町 莊野薬店
湯本町 岩瀬屋薬店
腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

學生服賣出



温かい丈夫な黒小倉
通學服を豊富に取揃へ
特價にて提供

小學用 長ズボン付 ¥0.85
全...特製品 ¥2.00
中學用特製品 ¥2.90

ふかや洋服店 平町三丁目 電話二〇八

近日賣出す發賣品は

満腹

一人前十五錢で満腹

平町三丁目

せ魚屋食堂

電話六三三番

心安積蓄 利低通融
三本無盡
許免臣大藏大
社會盡無用信本湯
番七四話電

毒核 腸胃
皮膚病 淋病 婦人病 専門
腸十二指腸病 専門
院醫科腸胃性村松
(七〇一話電) 町南町平

計免臣大藏大 共信共栄
盡無城磐
番八七三話電町野
蓄貯入味趣融金易簡

荊妻貞子永々病氣之處藥石無効本
月四日午後一時五分死去致候ニ付
此段謹告仕候

追テ葬送ノ儀ハ本七日午後一時自宅出棺長橋町性
源寺ニ於テ相營ミ可申候
昭和七年十一月五日

平町字胡摩澤
親戚 花澤 兔五 六
總代 佐川 澤 文 庫
友人 荒川 沼 重 善
總代 荒川 恒 次 郎

吸入用酸素 純度 99%

度量衡
モノサシ
マ ス
ハカリ
体温器
寒暖計

秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス
關内藥局
電話四〇番

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番

生花教授

家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然

華道教授 天庵 岡田華悦
平町仲町三